

勇気を持って次のステージへ

🎵 **ご卒業 ご卒園** **おめでとうございます!**

町内では中学校卒業式が3月11日、保育園修了式が18日、小学校卒業式が19日に行われました。中学生190人と小学生142人が卒業、保育園児108人が修了し、思い出が詰まった校舎、園舎に別れを告げ、希望を胸に新たな舞台へ羽ばたきました。



2



1



3

- ①答辞として、高久紘輝さんが、「学校生活もコロナの影響を受け厳しいこともありました。ベストを尽くしました」と述べ、岡本琉彩さんが、「夢を胸に自分の道を力強く歩んでいきます」と述べました(那須中央中)
- ②深谷雅明校長から卒業証書を受け取った54人の卒業生は別れの言葉で、家族や先生へ「私たちを支え、励ましてくれた」と気持ちを伝えた後、1,000株を超えるパンジーに見送られながら、思い出を胸に学びながら巣立ちました(黒田原小)
- ③園歌、「ぼくのひこうき」「はじめの一步」を元気いっぱいに歌いました。勇気を持って大きく一步を踏み出だした皆さんを応援しています(那須高原保育園)

おいしい思い出できました

那須中央中学校で、卒業式前日の3月10日の給食に那須和牛サイコロステーキが提供されました。町が実施する『那須和牛で元気アップ給食事業』を活用したもので、同校の落合史子栄養教諭は、「コロナ禍でがまんの多い1年でしたが、義務教育最後の給食で3年生に良い思い出が残るよう企画しました」と話してくれました。校内の給食室で作られた焼き立てのサイコロステーキを頼張り、生徒みんなが笑顔の思い出を作ることができました。



夢に向かって走れ!



2月18日、那須中央中学校でキャリア講座が行われ、那須ブルーゼンの箕輪翔太マネージャーと竹村拓選手が講師となり、自転車を活用した地域活性化などの事業内容や選手の日常を紹介しました。

竹村選手は、「子どもの頃の夢はプロの選手になることでしたが、今の夢は自分の姿を見てくれた人を笑顔にすることです」と話し、箕輪さんは、「職業は夢を叶えるための手段です。なぜその職業に就きたいのか、将来したいことは何かを深く考えてみてください。そして、まずは、目標を計画的に立て、夢に向かって走って行ってください」と生徒たちを激励しました。

1年2組の渋谷将磨さんは、「僕には教師になる夢があります。講話を聞き、責任を持って夢を追いかけていきたいと思いました」と振り返りました。